

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	高齢者膵癌患者における術前化学療法を含めた標準治療の忍容性・安全性の検討
	研究目的	高齢者は各臓器の生理的機能低下や栄養状態低下などにより、比較的手術リスクが高くなるとされている。高齢化社会が進展する一方で、周術期管理や合併症治療の進歩により手術治療の安全性は向上してきており、高齢患者に対する手術適応は拡大傾向にある。膵頭部癌に対しては術前・術後化学療法および膵頭十二指腸切除を含めた集学的治療が標準的となっているが、高齢者に対する集学的治療の検討は少ない。今回我々は、高齢者に対する術前化学療法の有用性の検討を行う。
	研究対象者	2013年1月から2021年12月までに当院で原発性膵癌に対して、術前化学療法（NAC）を施行した後に、亜全胃温存膵頭十二指腸切除術を施行した症例を対象とした。
	研究期間	西暦 2022 年 12 月 19 日～西暦 2023 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター研究責任者	上岡祐人
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター 消化器外科 上岡祐人	